

IV 実践で活用できる資料「ちいさな芽 わたしたちの宝もの」

第1章 実践のポイント

保育の実践を進めるにあたってのポイントをまとめました。各園での取組を参考にしています。それぞれの園で工夫して、みなさんの園の「宝もの」をどんどん増やしていきましょう。



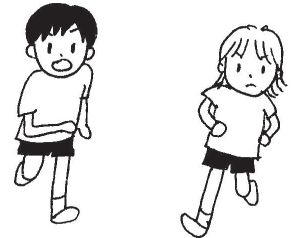
1 楽しくからだを動かそう 運動遊び・園庭等の活用

いろいろな動きを取り入れて、体を動かすことが楽しいと感じられるような環境、思わず体を動かしてしまうような環境をつくりましょう。

施設の活用

子供たちの毎日の生活や遊びの場である園庭を運動遊びの場という視点で、改めて見直してみましょう。

幼児期にはいろいろな動きを経験することが大切です。保育士・教員が自分の園の園舎、園庭の特徴を理解し、保育・教育を進めましょう。どのような動きが経験できるか、どんな遊びが楽しめるか、具体的にイメージしてみましょう。子供たちの様々な動きを引き出すような新たな工夫を考えてみましょう。



園庭を活用しましょう

ねらいに合った場所を考える

◆ねらいを達成できるような遊びの場を考えましょう。

例 周りが園舎等で囲まれている場でサッカーをします。

(効果) ボールが遠くまで転がらないので、遊びがテンポよく進み、楽しめます。遊びが継続し、運動量が増えます。

例 保育室からもよく見える場所に三輪車の交代場所を設定します。

(効果) 保育室にいる幼児の「三輪車に乗りたい。」という気持ちを引き出し、自分から取り組む姿が見られるようになります。

場の特性を活かす

◆傾斜のある園庭の特性を活かして遊びを行うことで新たな動きが生まれます。地形の高低差や場の特性を活かしましょう。

例 傾斜のある場所で鬼遊びをします。

(効果) 「駆け下りる」「駆け上がる」という動きが経験できます。

例 障害物のある場所で鬼遊びをします。

(効果) 隠れ場所ができ、遊びが楽しくなります。その結果、運動量が増えます。

立体的な環境をつくる

◆遊びの場を立体的にしてみましょう。

例 タイヤ、マット、コイル等の遊具を組み合わせます。

(効果1) 子供の活動場所が広がります。

(効果2) よじ登る、つかまる、ぶら下がる、など様々な動きが経験できます。

※高さがあるので、子供の発達や遊びの実態を十分に理解したうえで安全管理が特に重要です。



よじ登る遊具

可動式遊具を活用する

◆幼児が扱える可動式遊具を活用することで、鬼遊びなど思いきり走ることに十分ではない広さの園庭でも様々な動きが経験できます。

例 フープの活用

並べて置くことで、「跳ぶ」、中に入って「体を回す」、「くぐる」、転がすことで「転がす」、的として使えばボールを「投げる」動きが経験できます。面ファスナーのついた平面状のフープを使うと様々な並べ方が固定できます。

例 まくら木、幼児用ハードルの活用

並べ方や間隔、高さなどを工夫すると、様々な跳び方ができます。倒れても自動的に起き上がるハードルもあります。

例 縄跳びの活用

様々な遊び方を楽しみましょう。

- ①長縄とびや短縄跳びをする。
- ②縄を地面に置いて両足跳びで跳ぶ、音楽に合わせて跳ぶ、友達と手をつなぎ気持ちを合わせて跳ぶ、左右に跳ぶ、前後に跳ぶ。
- ③縄を空中に投げてキャッチする。
- ④カウボーイのように片手で縄を回す。「縄跳び体操」のように音楽に合わせて様々な動きを楽しむのもよいでしょう。

例 線の活用

床や地面に直線や曲線、長さ、配置など、線があることで幼児の動きのきっかけになります。遊びや日常生活の場の中で工夫してみましょう。

例 缶ぽっくりの活用

園庭を自由に歩きまわる、並んで歩くなど、子供たちと一緒に工夫してみましょう。線を引いて川を作り大またで渡ったり、曲線の上を歩いたりするのも楽しいですね。

様々な活動で体を動かす

◆日常生活や遊びを体の動きという視点から見直してみましょう。

例 「投げる」という動きはボール遊びだけではなく様々な遊びの中で経験できます。

- ①紙鉄砲を鳴らす
- ②紙飛行機を飛ばす
- ③こまをまわす

通常こままわしは「横から投げる」という動きが経験できますが、「大山ごま」など上から投げるこまもあります。

年間を通してこままわしの場を作り、繰り返し継続して取り組めるようにしている園もあります。



例 砂場遊びで使う水を入れたタライの場所を砂場から少し離します。そのことで、水をバケツに入れて運ぶという動きが生まれます。



タライの置き場所を工夫！

遊戯室を活用しましょう

巧技台やマットなどを使って体を動かす環境を作りましょう。どのような動きを経験できるかという視点で見直してみましょう。巧技台の組み合わせ方や高さなどを変えると子供たちの動きも変わってきます。



巧技台をつなげて、様々な動きを経験できるようにしています



大型マットをよじ登る動きを取り入れています

屋上を活用しましょう

家庭生活上で階段を上り下りする経験が少なくなっています。近くの小学校に相談して、学校の屋上を活用してみたいかでしょうか。芝生やビオトープ、プールなど、屋上は幼児にとって魅力的な場所です。何度か出掛けることで「また、屋上に行きたい。」という気持ちが高まり、期待をもって階段を登っていくようになります。

壁を伝って...



広い場所に行くと、まず幼児は、走りたくなります。安全に配慮しましょう。



忍者のように...

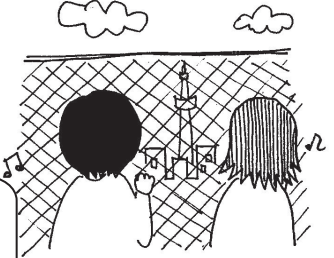
イメージをもたせて、静かに階段を登っていきます



芝生には、段差があります。安全面から、鬼遊びをする際は、この段差を配慮したルールづくりが必要です。



屋上では園の日常生活では体験できないような遠くを眺める経験もできます。自分の家や知っている建物を見つけたり空や雲の美しさに気付いたりします。



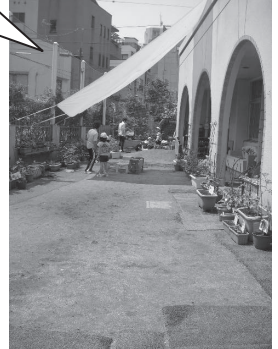
日中の日差しよけのためにタープを使っています

施設環境の情報交換をしましょう

各保育園、幼稚園、こども園の施設は、それぞれ特徴があり、工夫されています。互いに園を訪問した際には環境を見せていただいて、情報交換をしてみませんか。



色を使った園庭

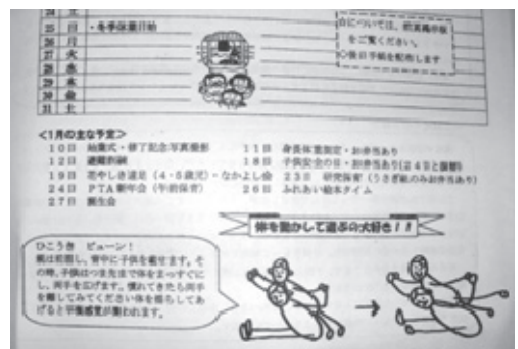


保護者との連携

幼児期に楽しく体を動かすことの大切さを保護者に伝えましょう。日常的に体を動かすことについては、家庭との連携が大切になります。

保護者会や参観など様々な機会を捉えて、伝えていきましょう。

家庭でも体を動かして遊ぶ機会が増えるよう、園内で保護者と一緒に体を動かす機会をつくり、家庭でできる運動遊びを「園だより」などで提案したりするとよいでしょう。



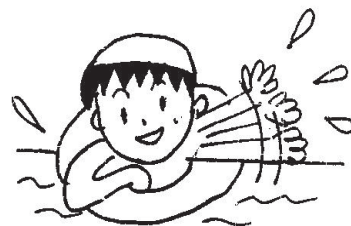
「園だより」に親子で楽しむ運動遊びを紹介



運動遊びを親子で楽しむ会

プール施設の活用

大きなプールは「開放感を味わう」「水の中で思いきり体を動かす」「浮く感覚を味わう」「泳ぐ」といった大きなプールならではの経験ができます。大きさを活かした活動を取り入れ、浮き輪やビート板なども有効利用するとよいでしょう。また、プールでの水遊びを小学生との交流活動の一環として計画してみてもいいでしょうか。



大きなプールを利用した水遊び活動の実施に向けて

スケジュールの調整

前年度に年間計画を作る際から予定しておきます。天候に左右されるので予備日を設定しましょう。

着替えや所持品の置き場所、体操を行う場所等の確認

日陰の場所の有無、動線の配慮なども含めて、小学校と綿密に打ち合わせましょう。

水位の調整、指導者・監視員の確保等の安全面の充実

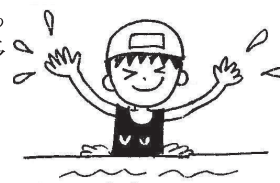
1年生の授業の前後に入らせてもらうと水位の調整がしやすいです。危険のないよう保育士・教員の役割分担を明確にします。



小学校とプールで交流活動

区の施設「清島温水プール」、「柳北スポーツプラザ」のプールは床が可動式のため水位の調整がスムーズです。園からの距離にもよりますが施設までの往復を歩くことも体力づくりにつながります。

- * 「清島温水プール」の団体での利用については前年度のうちに予約が必要です。希望者が多いため調整があります。
- * 両施設の利用について、詳しくは青少年・スポーツ課にお問い合わせください。



各園の取組

ラジオ体操

毎日ラジオ体操をしている園があります。幼児が親しみをもち、動きをイメージしやすいように、保育士・教員が体の動きを言葉を添えて行っています。



朝の登園時刻が早まり、午前中の活動が活発になりました。

雑巾がけ

手指を動かすことは大切な経験です。幼児が針と糸を使って雑巾を作り、できあがった雑巾を使って普段の生活では少なくなかった雑巾がけを行っています。腕で体を支えることや、足を動かすよい経験になっています。



意図的・計画的に運動遊びを取り入れましょう

発達に応じた運動遊びを意図的・計画的に取り入れ、楽しく体を動かすようにしていきましょう。

ボール遊びの参考例

マークの意味：主な動き ◆投げる ◇ける ☆転がす ★つく
 適した場所 ☀️ 戸外で ☒ 室内で
 遊びの内容 ○遊びのルール、遊び方 ◎配慮点

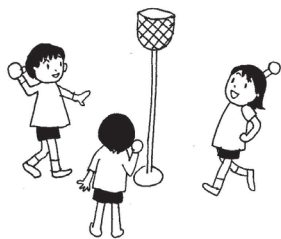
3歳児

発達に応じ年間指導計画の流れを踏まえて取り入れましょう

ボールに親しむ遊び◆◇☆☀️☒

○持ち歩く 滑り台から転がす 床に転がす 保育者と転がし遊び 投げる・キャッチする 気に入ったところ(動物の口等)に転がし入れる ビン倒し 保育者とボール投げ ゴールリングに向かって投げる ボール蹴り。
 ◎扱いやすいボール(大きさ、重さ、質感等)や置き場所に配慮する。

玉いれ◆☀️☒



風船ボールでの遊び◆◇☆☒

○投げる、手でつく等の遊び。

◎保育者または保護者と一緒にボールを作る。

◎軽くやわらかいというボールの特徴を活かした動きを取り入れる。



4歳児

年間指導計画の流れを踏まえて取り入れましょう

ボール遊び◆◇☆★☀️☒

○ける、転がす、投げる、つく等の遊び。

◎自分なりに試せるように一人一つのボールを用意する。

◎やってみたくなるような環境をつくる。(動物の口 キャラクターの絵の付いたシュート台 コロコロ坂など)

カミナリボール ☒

○輪になり座りボールを送る。鬼は輪の中央にいる。鬼が「ゴロゴロドスン」と言ったとき、ボールを持っていた人が鬼になる。

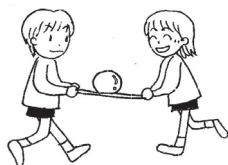
◎簡単なルールを守ってみんなと一緒に楽しめるようにする。

紅白球を投げる◆☀️☒



○的に向けて投げる、互いに投げ合う等の遊び。

ボール運びゲーム☀️☒



◎二人で運び、友達との触れ合いが楽しめるようにする。

新聞ボール遊び◆◇☆☒

○キャッチボールをする。的に向けて投げ入れるなど様々な楽しみ方ができる。

◎自分でボールをつくる。
 ◎扱いやすい新聞の量や扱いやすい大きさに気付かせる。

円陣ボール◆☆☀️☒

○鬼は円の外に、他の人は円の中に入る。鬼がボールを投げ、円の中の人に当てる。当たったら外に出て鬼になる。転がす方法もある。

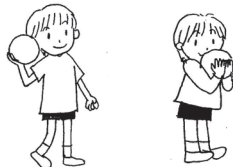
◎投げる、転がす力を考慮した円の大きさに配慮する。

5歳児

年間指導計画の流れを踏まえて取り入れましょう

ボール遊び ◆◇☆★☀️☒

○投げる、蹴る、とる、投げ入れる等の遊び。



なかぶつけ ◆☀️☒

○鬼は四角いコートの外に、他の人はコートの中に入る。鬼がボールを投げ、コートの中の人に当てる。当たったら外に出て鬼になる。

◎広さに配慮した四角形のコートで行う。

ドッジボール◆☀️☒

○2チームに分かれて行う。ルールは幼児の実態等に応じて、工夫する。

◎当初は技術など力関係を考慮したチーム編成で行う。

◎チーム意識をもてるようにする。

◎実態に応じて点数表を取り入れ、遊びへの意欲を高めていく。

ラインサッカー◆☀️☒

○ゴールは使わず、相手のゴールラインをボールが超えたら点が入る。

◎当初は技術など力関係を考慮したチーム編成で行う。

◎チーム意識をもてるようにする。

◎実態に応じて点数表を取り入れ、遊びへの意欲を高めていく。

サッカー◆☀️

○2チームに分かれて行う。

◎実態に応じて点数表を取り入れ、遊びへの意欲を高めていく。



鬼遊びの参考例

マークの意味：主な動き □走る ■つかまえる
 主な活動 ▲言葉のやり取り △チーム意識 ●ジャンケン
 適した場所 ●* 戸外 ◊ 室内
 遊びの内容 ○遊びのルール ◎配慮点

年間指導計画の流れを踏まえて取り入れましょう

3歳児

保育士・教員と一緒にイメージをもって遊べるもの、歌や簡単な言葉のやり取りのある遊び

むっくりくまさん おおかみさん今何時？

おおかみさん □■▲●*◊
 ◎イメージで動く楽しさを味わえるようにする。
 ◎家を囲うときは扱いやすく互いの動きが見えるものを使う。

カレーライス鬼

○鍋の形を地面に描き「にんじん。」など具の名前を呼ぶ。呼ばれた人は「はい。」と返事をし、鍋に入る。「カレー粉入れてさあ食べよう。」の合図で、具は鍋から逃げる。保育士・教員は鍋に追い込む。

2か所の引っ越し鬼 小鳥の引っ越し鬼等 3か所の引っ越し鬼 おおかみとこぶたの鬼ごっこ等

◎言葉のやり取りや合言葉で一緒に移動する楽しさを味わえるようにする。
 ◎スリルが味わえるような陣地の配置を考える。

☆役割は子供に選ばせ、途中交代もあり。運動量や安全面に配慮し、遊びの回数や陣地の場所・間隔を決めましょう。

年間指導計画の流れを踏まえて取り入れましょう

4歳児

保育士・教員、友達とイメージをもって遊べるもの

鳥鬼

○鳥の形を描き、鬼は鳥の外にいる。逃げる人は鳥の中にいる。
 ○鳥の形を変えると、遊びの楽しさや幼児の動きが変わる。

ひも取り鬼

○最初はチームに分かれずに行く。
 ○9月頃より2チームに分かれ陣地に同数のひもを置く。とられたら陣地に戻り、ひもを腰に付ける。各チームのひもがなくなったら終了。

助け鬼

○つかまえる人(鬼)と逃げる人に分かれる。つかまったら鬼の陣地に入るが、自分のチームの人がタッチしたら自分の陣地に戻る。

ねことねずみ

○線をはさんでねこチームとねずみチームが並ぶ。保育士・教員が「ね・ね・ねずみ。」と言ったら、ねずみは自分の陣地に逃げ、ねこはねずみをつかまえる。「ね・ね・ねこ。」と言ったらねずみはねこをつかまえる。

ドンジャンケン

○二つの陣地を線で結ぶ。合図で双方の陣地からもう一つの陣地の方向に出て、線の上で相手と出会った所でジャンケンをする。勝った人は線上を前進。負けた人は線はずれ自分の陣地にもどる。相手の陣地に入ったら勝ち。2箇所の陣地に分かれ対戦する

氷鬼、高鬼、色鬼

氷鬼 ○つかまったらその場で氷になり動けない。鬼以外の人にタッチされたら動けるようになる。
色鬼 ○「色、色何色。」の掛け声で鬼が「赤。」等色を言う。鬼以外の人はその色の物を見つけてタッチ。タッチする前に鬼につかまったら負け。

☆役割の途中交代は、なし。勝ったり、負けたりして繰り返し楽しめるようにしましょう。

年間指導計画の流れを踏まえて取り入れましょう

5歳児

目的に向けて、チーム意識をもって楽しめる遊び



ドンジャンケン

○2グループに分かれ対戦する。ルールは「4歳児」を参照。
 ◎直線と曲線のコースをつくる。

助け鬼

○ルールは「4歳児」を参照
 ◎ルールの条件や内容、人数について自分たちで考えたり、変化させたりできるように気付かせていく。

手つなぎ鬼

○鬼につかまったら手をつなぐ。つないだまま相手をつかまえる。4人になったら、2つに分かれ2人で手をつないだまま相手をつかまえる。鬼が増えていく。

ジャンケン助け鬼

○2チームに分かれる。相手チームとジャンケンをし、勝ったら相手をつかまえる。負けたら自分の陣地まで逃げる。つかまったら相手の陣地に入る。自分のチームの人にタッチされたら自分の陣地に戻る。
 ○ドンジャンケン+助け鬼。

宝取り鬼

○2チームに分かれ、相手の陣地にある宝を取ったら勝ち。相手の陣地でタッチされるとつかまってしまう。つかまったら相手の陣地に入る。自分のチームの人にタッチされたら自分の陣地に戻る。

お地藏さん鬼

○鬼につかまったら足を開きお地藏さんになって立つ。鬼以外の人自分の股の下をくぐったら、お地藏さんから人に戻り、動き出すことができる。

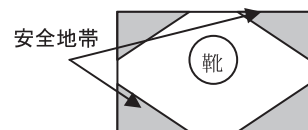
靴鬼

○鬼につかまったら靴の片方を中央の円に入れる。ケンケンで外に出て助けられるまで待つ。鬼につかまらないようにしながら、友達のを取りにいれく。靴を取り返してもらおうと助けられたことになり再び遊びに参加できる。→右の「靴鬼の環境図」を参照。

3すくみ鬼

ドラえもん鬼(ドラえもん、猫、ねずみ)、ジャンケン鬼(ゲー、チョコ、パー)等。
 ○A、B、Cの3チームに分かれ、AはBを、BはCを、CはAを、それぞれつかまえる。つかまえられても自分のチームの人にタッチされたら自分の陣地に戻る。

靴鬼の環境図



が靴を取った場所
子供

☆相手の動きを見て逃げたり追いかけたり多様な動きを楽しめるようにしましょう。自分たちでルールを考えて展開していけるようにしましょう。

*鬼遊びのルールは一つの例です



2 自然となかよし 自然・環境

幼児は、自然を目の前にすればおのずと自然の姿に目を留め、心を動かされるとは限りません。保育士・教員が、感性を豊かに保ち自然に感動することやちょっとした幼児の自然へのかかわりに共鳴することが大切です。幼児の心がわき立つような、自然との出会いができるよう、環境を整えましょう。自然とかかわる中で様々な力や心を育んでいきましょう。



野菜を育てましょう

毎日野菜を見ていると何が必要か分かります。朝晩見て、相手を知ることから始めましょう。



どんな野菜を植えますか

何のために野菜を育てるのか、ねらいをもち野菜を選びましょう。育てやすく、生長の変化に気付きやすいか育てた喜びや満足感をどのように経験させようかなどを考えましょう。



パソコンで栽培日記

栽培日記をつけましょう

野菜の生長の様子や子供たちや保護者、地域の方とのかかわり、指導の内容など、気付いたことや経験したことを短い文章で書き入れられるようにします。

全教職員が毎日のちょっとした時間で気軽に書き入れられるよう、形式を工夫していきましょう。



置き場所の工夫

プランターは保護者や地域の方の目に触れる場所に置きましょう

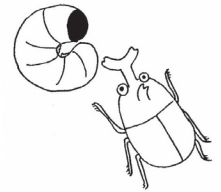
登降園時などに毎日様子を見ることができ、親子の会話や教職員とのかかわりなどが増え、みんなで育てていこうという気持ちが高まります。栽培の得意な方からの情報を得ることもできるかもしれません。

年間を通して野菜・果実を栽培しましょう

一年間の見通しをもち栽培計画をたてて行うとよいでしょう。



身近な生き物を飼ってみましょう



生き物は飼うことで、より身近な存在になります

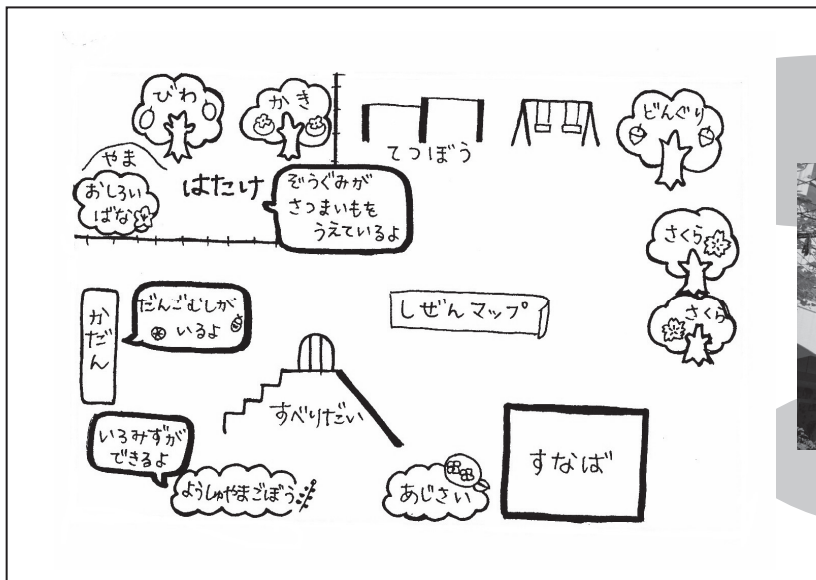


カブトムシの世話の様子

何を食べるのか、どのような環境が必要なのかなどを調べる活動につながるでしょう。絵本や図鑑などを環境として用意しましょう。幼児が様子を見やすく、かかわりやすいように飼育ケースの大きさや置き場所など配慮します。一緒に写真を掲示するなど工夫しましょう。

どうかかわることが、生き物にとってうれしいことなのかを体験を通して感じられるようにしていきます。「命の大切さ」を、かかわりの中で実感させていきましょう。

園庭を活用しましょう



園庭自然マップを作る

園庭にどんな植物があるのか、どんな虫がいるのか、幼児と一緒に調べてみましょう。虫探しの好きな子供など、自然に興味がある子供たちの力を活かしながら、作ってみるのも楽しいでしょう。

マップはみんなで情報を共有することができ、自然への関心を高めることにつながります。

専門家をお招きして、園庭の自然について教えていただくのもよいですね。

緑のカーテンで涼しく

自然に親しむことに加えて、節電などの環境教育の基礎になります。暑い夏の日陰の遊びの場にも最適です。

掲示板を活用しましょう

植物の生長の様子、変化が分かるように、掲示しています。保護者や地域の方の関心も高めていきましょう。

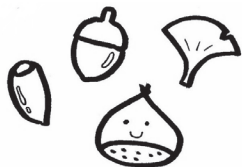


近くの公園などを活用しましょう

区内の公園を季節ごとに活用してみませんか

園から徒歩で行ける近くの公園を積極的に活用しましょう。季節ごとに繰り返し出かけることで、季節の変化を感じることができます。また、その公園が子供たちにとって身近な場所となることで、新たな発見や遊びを見出すことができます。

地域の自然・遊び場のマップを作り、活用方法を考えていくのもよいでしょう。



近くの公園を頻繁に活用していきます

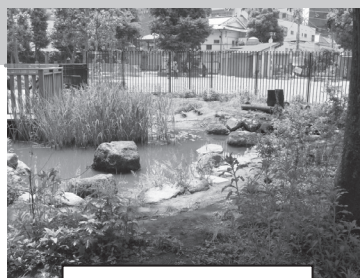
野草摘みや虫探しなど、繰り返し出かけましょう。グループごとに草や虫を探し、園に戻って図鑑を調べるなど、園での遊びとつなげていきましょう。

「環境ふれあい館ひまわり」と共に・・・

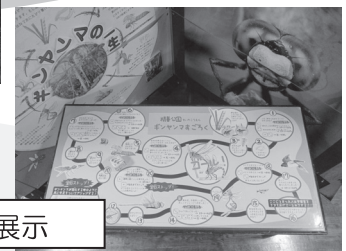
その1 環境ふれあい館ひまわりに出かける

「環境ふれあい館ひまわり」の前の精華公園にスタッフの方が管理されているビオトープがあります。ここでは説明してもらったり、自然にじかに触れたりすることができます。館内には、環境学習室や環境情報室があり、興味深い展示物もたくさんあります。幼児向けプログラムもたくさん用意されています。集会室でお弁当を食べることもできます。

～保育士・教員の皆さん、一度行って見ませんか～



ビオトープ



様々な展示

その2 環境ふれあい館ひまわりの方に園に来ていただく

野菜の栽培など自然とのかかわりや環境教育等、活動についてスタッフの方に相談してみましょ。環境ふれあい館で行っている幼児向けのプログラムを園ですることもできるそうです。園庭の自然環境の活用の仕方を教えていただく、公園に出かける際に来ていただきネイチャーゲームを教えていただく、など園の希望をお話してみるとよいかもしれません。

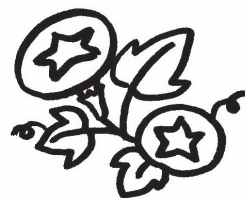


スタッフの来園

保護者や地域の方、小学生とともに

小学生と一緒に校庭の自然散策

小学生が発見したことも教えてもらい、互いに自然との新たな出会いを楽しみましょう。



親子で自然を感じる

親子で一緒に草木を見る、風の音を聞くなど意識して自然とかかわっていくことで、普段は気が付かないような様々な発見があります。そのときの気持ちをつぶやいたり、歌や俳句にまとめる取組もできます。





3 お話きかせて 絵本・物語

子供たちにとって絵本・物語は、園では保育士・教員、家庭では保護者から読んでもらう大きな楽しみの一つです。絵を見てお話を聴き、その世界を楽しみ、イメージを膨らませ想像力を豊かにするとともに、様々な感情を経験した子供たちはその心を豊かにし成長していきます。絵本・物語の楽しみを子供たちに知らせていきましょう。

絵本・物語を楽しむ環境

◆子供たちは毎日の生活の中で絵本・物語の世界をわくわくした気持ちで楽しんでいます。絵本・物語を十分楽しめる環境を整えましょう

- ・落ち着いて絵本を見ることができるところを設定しましょう。
- ・子供が見やすく手に取りやすいよう表紙が見えるように置きましょう。
- ・その日に読む本を保育室の子供たちから見える場所に置くとより興味をもちます。
- ・季節の絵本・物語や年齢に合った様々な遊びにも発展させることのできる絵本・物語を選び、入れ替えをしましょう。
- ・破れたり、ページが抜けていたりするものは速やかに修理しましょう。状況によっては子供と一緒にいきましょう。

◆保護者が絵本・物語に関心を持ち、手に取ってみたい、子供に読んであげたいと思えるような環境をつくりましょう

✿ 貸し出し図書

- ・絵本貸し出しの利用の仕方や約束など周知し、借りやすくしましょう。
- ・保護者向けの本も揃えておくこと借りるきっかけづくりにつながります。
- ・個別の「貸し出し絵本カード」を活用し、感想や思いを書いてもらい家庭との連携に活用してみましょう。
- ・家庭で人気の絵本・物語や家庭での絵本にまつわるお話などを記事にして「園だより」に載せるなど工夫し、絵本・物語に興味をもってもらうきっかけにしましょう。
- ・年齢に応じた子供に人気の絵本、保育士・教員お勧めの絵本・物語を定期的に展示してみましょう。

✿ 園の取組を知ってもらいましょう

- ・園での「読み聞かせ」や「絵本の日」「ふれあい絵本タイム」などの取組を「園だより」や写真の掲示などで工夫して伝えていきましょう。



「絵本コーナー」



「親子読み聞かせ」

台東区とかかわりの深い絵本を紹介します



「祭りだ、わっしょい」

祭りだ、わっしょい —浅草・三社祭—

矢代俊平 著 澤田重隆 イラスト

* 絶版になっていますが中央図書館で借りることができます。



お祭りごっこのお神輿作り



お勧めの絵本・物語選

— 保育園・幼稚園・こども園で読み聞かせしているものです —

3・4・5歳児の年間指導計画における「お勧めの絵本・物語」を選びました。「幼児教育共通カリキュラム ちいさな芽 増補版 策定作業部会」の委員の方々の推薦と専門家のご意見とを併せ、選定をいたしました。絵本・物語の多くは保育・教育への取り入れ方によって各年齢および期にまたがって活用できます。

* 一覧表の「掲載ページ」欄は年間指導計画「保育・教育資料(例)」の掲載ページを示しています。

3歳児にお勧めの絵本・物語20選

3歳児は言葉に対する力が急に発達する時期です。簡単な筋を追って物語を楽しむことができるようになります。繰り返しのある絵本がこの時期の子供たちは魅力的です。

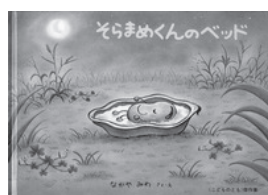
	書名	出版社	文	絵	掲載ページ
1	でんしゃにのって	アリス館	とよたかずひこ		11
2	きょうのおべんとうなんたらな	福音館書店	きしだえりこ	やまわきゆりこ	9
3	ぼくのくれよん	講談社	長 新太		9
4	はらぺこあおむし	偕成社	エリックカール (もりひさし訳)		11
5	ぞうくんのさんぽ	福音館書店	なかのひろたか (なかのまさたか レタリング)		11
6	くずかごおばけ	童心社	せなけいこ		11
7	ねずみくんシリーズ	ポプラ社	なかえよしを	上野紀子	13
8	ぐりとぐらシリーズ	福音館書店	中川李枝子	山脇百合子	11
9	てぶくろ	福音館書店	ウクライナ民話(内田 莉沙子 訳)	エウゲーニー・M・ラチョフ	13
10	おおきなかぶ	福音館書店	A・トルストイ(内田 莉沙子 訳)	佐藤 忠良	13
11	三びきのやぎのらがらどん	福音館書店	ノルウェーの昔話(瀬田貞二訳)	マーシャ・ブラウン	13
12	きんぎょがにげた	福音館書店	五味太郎		11
13	もりのおふろ	福音館書店	西村敏雄		13
14	とりかえっこ	ポプラ社	さとうわきこ	二俣 英五郎	9
15	もこもこもこ	文研出版	谷川俊太郎	元永 定正	15
16	りんごがドスン	文研出版	多田ヒロシ		13
17	わにわにシリーズ	福音館書店	小風さち	山口マオ	11
18	ふうせんくまくん	金の星社	あきやまただし		11
19	おでかけのまえに	福音館書店	筒井頼子	林明子	13
20	わたしのワンピース	こぐま社	西巻 茅子		15



4歳児にお勧めの絵本・物語20選

4歳児は言葉に関する力がどんどん伸び、言葉を聴いてその世界を思い描くことができるようになります。想像力や空想力の基礎が身に付く頃です。絵本がその力を育てます。

	書名	出版社	文	絵	掲載ページ
1	はじめてのおつかい	福音館書店	筒井頼子	林明子	39
2	「そらまめくん」シリーズ	福音館書店	なかやみわ		33
3	「11ぴきのねこ」シリーズ	こぐま社	馬場のぼる		33
4	おおかみと七ひきのこやぎ	福音館書店	グリム童話(瀬田貞二訳)	フェリクス・ホフマン	35
5	10ぴきのかえるシリーズ	PHP研究所	間所ひさこ	仲川道子	35
6	そらいろのたね	福音館書店	中川李枝子	大村百合子	37
7	たろうのおでかけシリーズ	福音館書店	村山桂子	堀内誠一	33
8	どろんこハリ-	福音館書店	ジーン・ジオン(わたなべしげお訳)	マーガレット・プロイ・グレアム	39
9	ばばあちゃんシリーズ	福音館書店	さとうわきこ		33
10	ぼく、だんごむし	福音館書店	得田之久	たかはしきよし	33
11	だるまちゃんシリーズ	福音館書店	加古里子		33
12	14ひきシリーズ	ひさかたチャイルド	いわむらかずお	いわむらかずお	37
13	三びきのやぎのがらがらどん	福音館書店	ノルウェーの昔話(瀬田貞二訳)	マーシャ・ブラウン	39
14	どうぞのいす	ひさかたチャイルド	香山美子	柿本幸造	37
15	すてきな三にんぐみ	偕成社	トミー・アングラー(今江祥智訳)		39
16	ぐるんぱのようちえん	福音館書店	西内ミナミ	堀内誠一	39
17	おまえうまそうだな	ポプラ社	宮西達也		39
18	しょうぼうじどうしゃじぶた	福音館書店	渡辺茂男	山本忠敬	39
19	きよだいなきよだいな	福音館書店	長谷川摂子	降矢なな	39
20	だいくとおにろく	福音館書店	松井直(再話)	赤羽末吉	39



5歳児にお勧めの絵本・物語10選

5歳児は気に入った絵本を繰り返し楽しんで、豊かに養われた想像力をもって、物語絵本や知識の絵本、科学の絵本へとその興味を広げていきます。かなり長い物語も楽しめるようになり、毎日少しずつ読んでもらうことを楽しみにするようになります。

	書名	出版社	文	絵	掲載ページ
1	ざりがに	福音館書店	よしざきまさみ		63
2	にじいろのさかな	講談社	マーカス・フォスタ (谷川俊太郎 訳)		63
3	いやいやえん	福音館書店	中川李枝子	大村百合子	61
4	おいしいのぼうけん	童心社	ふるたたるひ	たばたせいいち	61
5	からすのパンやさん	偕成社	かこさとし		63
6	かいじゅうたちのいるところ	富山房	モーリス・センダック (じんぐう てるお 訳)		63
7	はじめてのキャンプ	福音館書店	林明子	林明子	63
8	じごくのそうべえ	童心社	田島 征彦		61
9	くれよんのくろくん	童心社	なかやみわ		63
10	だんまりこおろぎ	偕成社	エリック・カール (くどうなおこ 訳)		63

